

MORGAUA QUARTET

宇宙の果てまでモルゴア...



MORGAUA
QUARTET

モルゴア・クアルテット

第57回定期演奏会

荒井英治
Eiji Arai

戸澤哲夫
Tetsuo Tozawa

小野富士
Onofuji

藤森亮一
Ryoichi Fujimori

2026年6月29日(月)

19:00開演(18:30開場)

浜離宮朝日ホール

指定席(限定32席) 4,500円

一般(自由席) 4,000円

学生(自由席) 2,000円

※指定席はミリオンチケットのみで取り扱い

ニールセン 弦楽四重奏曲 第2番 へ短調 作品5

ランゴー 弦楽四重奏曲 第3番 変ホ長調 BVN183

グリーク 弦楽四重奏曲 ト短調 作品27

チケット販売 朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990 <https://www.asahi-hall.jp/hamarikyu/ticket/>

e+イープラス <https://eplus.jp> / ローソンチケット <https://l-tike.com/> (エイチ ティーティーピース //エル-ティアイケーイー- シーオーエム /)

ミリオンチケット 03-3501-5638

ミリオンコンサート

検索

※ウェブサイトからのお申し込みはセブンイレブンでのお引き取り

コンサートマネジメント

ミリオンコンサート協会 03-3501-5638

みなさん、お元気ですか。

マンネリ化など、どこ吹く風のモルゴーアQです。

限られたレパートリーを磨き上げるのではなく、あまたあるこの種の中から選び、みなさんとそのめくるめく世界の奥深さを愉しみたい！モルゴーアとは、そこに集約できるのではないかと思います。

楽しいは深い、深いは楽しい！です。

今回の演し物は、デンマーク作曲家が2人にノルウェー作曲家が1人です。

デンマークは北欧でありながら、ドイツと地続きですから、その音楽もなかなか一筋縄ではいかないものがあります。ことにニールセンはブラームスの弦の書法に寄りながら（それは誠に見事です！）あの独特な不思議な転調を駆使します。既視感とそれを裏切る新奇な展開、う～ん、味わうほどに魅了されてしまうのを禁じえません。

ランゴーはもう、凄いですね…。北米のアイヴスかロシアのロ斯拉ヴェツか、北欧のランゴーかっていうくらいに宇宙的です！なんだかよくわからないくらい、まあいっちゃってます。従ってこの曲、予習禁止です！とりあえず…。

グリーグ、初期にもう一曲書いたのは分かっているのですが、正式に認められているのはこのト短調の四重奏曲です。

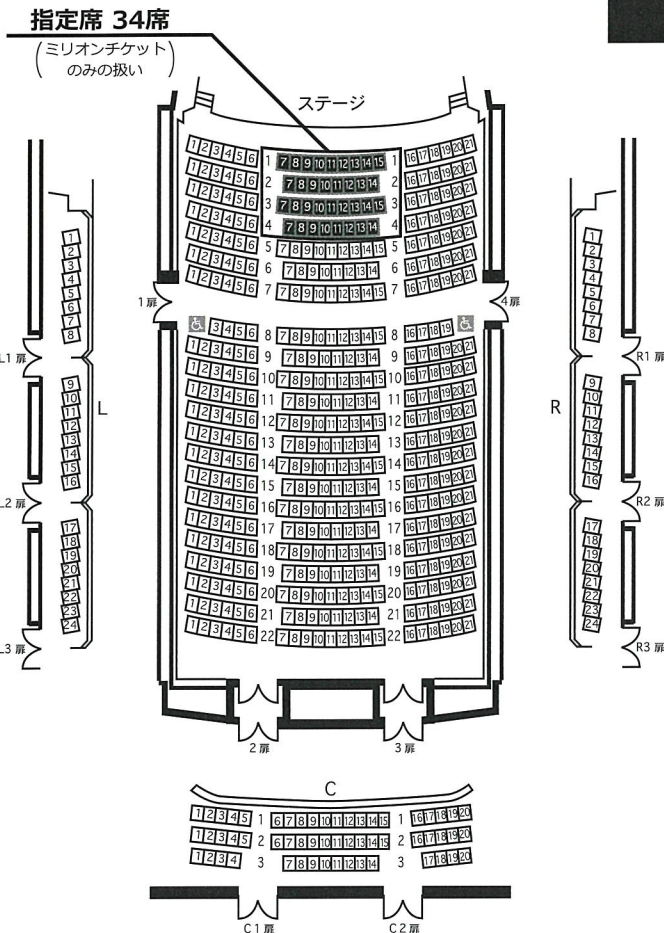
その安定した豊かな響きにはオーラすら感じとれます。厳しさと同居する温かさ、。

『人間性』というのは言葉にするには易しいですが、こういった音楽はそれを、より伝えてくれるのではないのでしょうか。

さあ、どこをどう愉しんでいいのやら！

…あとは、あなた次第です！！

荒井英治



モルゴーア・クアルテット(Morgau Quartet)は、ショスタコーヴィチの残した15曲の弦楽四重奏曲を演奏するため1992年秋に結成された弦楽四重奏団。

2001年1月の第14回定期演奏会でショスタコーヴィチの残した弦楽四重奏曲全15曲を完奏。

ショスタコーヴィチ没後40年(2015)から生誕110年(2016)をつなぐ「ショスタコーヴィチ弦楽四重奏曲全15曲演奏会」を2015年大晦日から16年元旦にかけて「横浜みなとみらい小ホール」で開催。瞠目のプログラムで多くの聴衆を集めた。

2023年から24年にかけて「演奏活動30周年演奏会」をオール・ショスタコーヴィチ、オール・ロック、過去53回の定期演奏会プログラムから再演希望曲をアンケートし、そのリクエストに沿った演奏会を2回行い話題を呼んだ。

2012年から17年に日本コロムビアからリリースした、荒井英治編曲のプログレッシブ・ロック・アルバム《21世紀の精神正常者たち》《原子心母の危機》《トリビュートロジー》により、ボーダーレスな弦楽四重奏団としても高い評価を受ける。

2017年9月「第47回JXTG音楽賞洋楽部門 本賞」、2018年6月「第28回みんゆう県民大賞 芸術文化賞」などを受賞する。